



Media Guide

-メディアガイド-

Web3.0をもっと身近に

「lolite（アイオライト）」は、Web3.0という言葉で表現される、これから起こる大変革の時代に、分散型インターネットおよび次世代のテクノロジーに関する情報を発信。

日々進化するWeb3.0領域において、ブロックチェーン技術やNFT・メタバース・AIなどのトピックを独自の視点でフィーチャーし、お届けするWeb3.0特化のビジネス誌。創業より世界のさまざまなブロックチェーンシーンに寄り添ってきた編集部がWeb3.0領域の最新情報をはじめ、豊富な情報量とクオリティにこだわり誌面を構成。

lolite（アイオライト）の由来 - 石言葉：夢への羅針盤

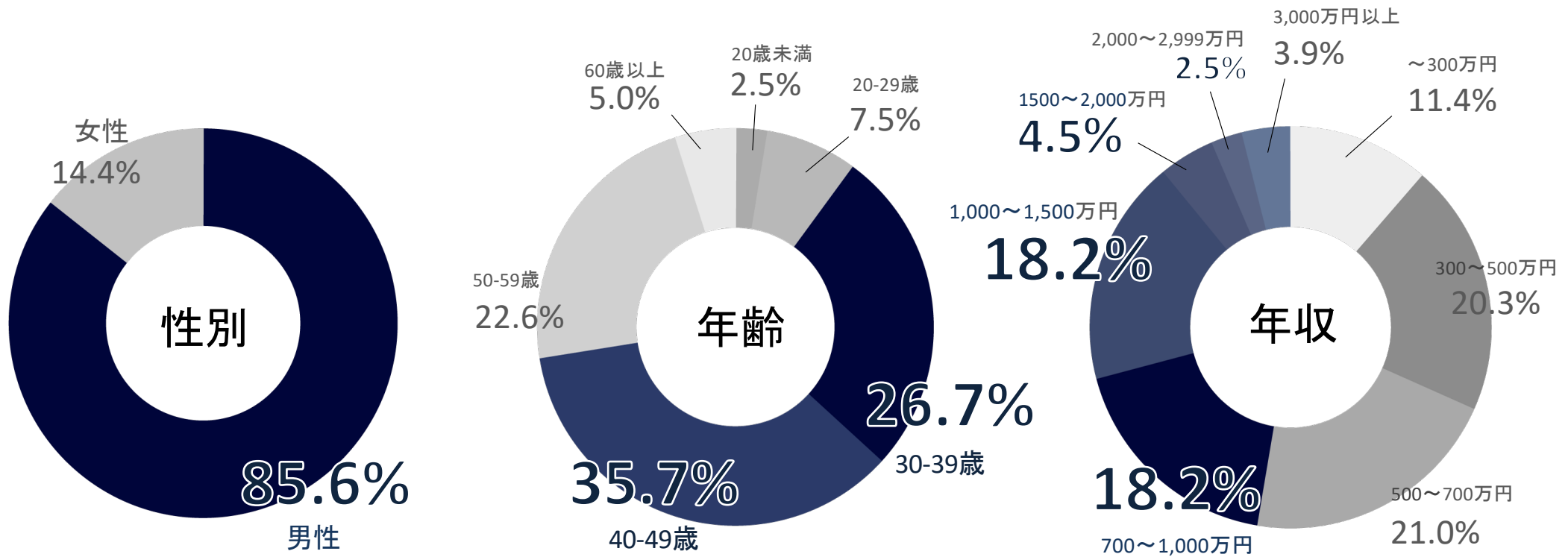
- IO エンジニアの世界でIOは、Input/Outputを想起
 エンジニア系のサイト・ブロックチェーン企業には人気があるドメイン
- Lite Lightを想起。光は進むべき道を照らす

概要・実績	
雑誌	
発行部数	20,000部
ページ数	96ページ
販売価格	1,200円（税込）
流通	全国コンビニ、書店
SNS（X、LINE等）	
総フォロワー数	54,872人

※2025年9月末時点



意思決定層に届く、年収1,000万円以上の30～40代男性多数



雑誌ならではの強みを活用

- インタビューページの後に自社のプロダクトの純広告を入れて文脈を設計。ストーリー性のあるPRを行う
- 有識者の後のページに掲載でブランディングを図る

概要	テキスト量は1ページあたり約1,000字程度、Webのみであれば1記事500字～2,000字ほど（前後半に分けること、2,000文字以上の記事の作成はご相談ください）。 写真や図版等を交えつつ作成。基本的に写真などの提供素材を元に作成しますが、カメラマンによるインタビュー対象者の撮影も可能。※応相談
被リンク	有 ※パラメーターの付与については応相談
校了期限	雑誌/原則奇数月の第3金曜日 Web/掲載日の2営業日前
二次利用	有
備考	公式LINEへの配信は火曜日および木曜日、日曜日に限定させていただきます。また、配信掲載順については編集部にて決定します。
掲載に際して	事前に弊社の広告掲載基準に則り、広告審査を行います。 公開した記事はアーカイブされます。 掲載記事には「AD」または「Sponsored」の表記をいたします。 カメラマン・遠方取材等、経費がかかる取材につきましては、別途請求とさせていただきます。

Macro perspective

vol.10

Tech and Future

DX推進の妨げになっているUIの使いづらさは
企業側の体質の問題でもあり、
それを解消すればDX化は進む

佐々木 健尚

Toshino Sasaki

Profile
1981年兵庫県生まれ。早稲田大学経済学部経済情報学専攻。東京新聞記者、月刊アスキー編集部に在籍。フリーランスとして読者、編集者としての経験（「くるくる」1、2号）。「レイヤー化する世界」(NHK出版新書)、「暮らしと、未来のテクノロジー」(サイガジフックス)、「そして、暮らしは消費財にも」(ワンダスタジオ)に著書あり。

——UIの進化と日本のDX推進を阻むUI問題について
ご質問をお待ちです。どうか。
佐々木 健尚 (以下「佐々木」) : まずDXが推進するなかでUIが進化してインターネットが使いやすくなるというのが前提にあるわけですが、
今から20年以上前、90年代にパソコンがようやく日本社会に普及して、インターネットが使われるようになった時代を振り返ると、あの時代に行くとパソコンの使い方が入門的なものがたくさんあったんですが、スマホ時代になって、PCも含めて入門書を読んでいる人というのは少ないと思います。それはそれだけUIが進化して使いやすくなったということなんですが、Android OSにしろiOSにしろ、直感的に使えるようになっていっても、やっぱり年齢層が高い人向けでもそこそこ使いこなせるくらいにはなっています。それも、年々使いやすくなっています。
UIの進化というのはMS-DOS時代のGUIから、80年代後半から90年代にかけてMacやWindowsのGUIとなり、2000年代前半くらいはスマートフォンが登場でディスプレイをタッチ操作するものになって、基本的にはパソコンのGUIと同じ操作系だったので、連続数十年のパソコンなどのUIの進化は実質1回しか行われていないと考えるんです。

——今後はUIが劇的に変わる可能性がありますか？
佐々木 : そうですね。生成AIが登場してから今後はOSがUIの中心になるといわれるようになったので、今後のUIの進化を考えると、ひとつは音声で入力するのが当たり前になるということです。また、AppleのVision ProのUIがジスチャーの動きだけというところから、もうひとつの方向性として、Appleが考えているようなジスチャーUIですね。
そのジスチャーUIと生成AIが音声対応するという方向性がリンクする可能性もあって、最終的な着地点というのは音声とボディランゲージでコンピュータと会話するという方向なんじゃないかと思います。
——デバイスと会話するのが当たり前になる？
佐々木 : そう。まさに我々人間が人間同士で喋る時と同じ感じですね。メニュー画面とか全部なくて、我々が人と喋るのと同じようにコンピュータとも喋り、ボディランゲージで話さうという方向に最終的に行き着くんじゃないかと。
さらに音声とボディランゲージだったから、今のスマートフォンの利用には必要なくなるので、デバイスの形態が超小型化して、我々が日常的に目にすることはないという可能性があるわけです。
——それはデバイスとも呼べない「用器」になる？
佐々木 : 一時期にはそうですね。でも、やはり人間という

82 | Iolite Special Issue | 2024.10

Web3.0

Web3.0は“1つの目標” 特定の終着点は明言せず可能性を探る — オードリー・タン独占インタビュー

2024/09/18 23:35 (2025/08/06 14:44 更新)

Iolite 編集部

SHARE

Audrey Tang

オードリー・タン

Web3.0は“1つの目標” 特定の終着点は明言せず可能性を探る — オードリー・タン独占インタビュー

そのほかの可能性を探るため

Photo & Interview

目次

1. オードリー・タンが語るWeb3.0

2. AIは日常生活を支える“知性”

3. AIは私にとって支援的な“知性”を意味し人間関係のつながり、社会的なつながりを促進する

4. コミュニケーションにはプラットフォームが不可欠、共有のコンテンツを持ちそれを促進することが重要だ

オードリー・タンが語るWeb3.0

——現在のWeb3.0分野の状況と将来について、特に暗号資産やブロックチェーンに関する見解をお聞かせください。

オードリー・タン (以下、タン) : まず最初に、私にとってWeb3.0の領域においてよく使われる「Crypto (クリプト)」が必ずしも「暗号通貨」とリンクするわけではなく、「暗号」という認識になりうることをお伝えしたいです。

応用暗号、プログラム可能な暗号、一般的な暗号技術は非常に強いポテンシャルを感じさせます。そして、暗号と通貨のつながりにおいて、暗号資産（仮想通貨）は「Web3.0」の代名詞的な認知がとられています。私にとっても「Web3.0」は暗号技術を使用して、より民主的で多様な思想の受け入れを可能にした世界観だと考えています。通貨は確かに1つの応用例ですが、私が考える主な応用例ではないということです。

私の本「Plurality.net」では、Web3.0を1つの目標として一貫して表現しています。本の中ではWeb3.0技術、Web3.0コミュニティなどについて書いていますが、特定の終着点としてのWeb3.0については明言していません。その理由は、Web3.0の終着点をあげることで、特定のビジョンに近付き、そのほかの可能性に反応しにくくなると思うからです。

純広告

純広告だけではなく、追加費用なしでクリエイティブ制作も対応可能

- 表2.表3.目次対向等、目立つページへの掲載で印象付け
- ※純広告：印刷面タテ280×ヨコ210（データ上はこれに3ミリ四方のトンボをつける）

概要	テキスト量は1ページあたり約200~400字程度、ビジュアルをメインで反復効果を期待できる雑誌にて貴社のプロダクトを印象付けます。素材を頂ければ、追加費用なく弊社にて広告の製作も可能。Webへ掲載の場合にはバナーの制作をいたします。※応相談
被リンク	有 ※パラメーターの付与については応相談
校了期限	雑誌/原則奇数月の第3金曜日 Web/掲載日の2営業日前
二次利用	有
備考	公式LINEへの配信は火曜日および木曜日、日曜日に限定させていただきます。また、配信掲載順については編集部にて決定します。
掲載に際して	事前に弊社の広告掲載基準に則り、広告審査を行います。公開した記事はアーカイブされます。掲載記事には「AD」または「Sponsored」の表記をいたします。カメラマン・遠方取材等、経費がかかる取材につきましては、別途請求とさせていただきます。



広告掲載について

掲載形式（雑誌）

純広告

記事広告

タイアップ/特別企画

掲載料金（雑誌）

※7P以上の掲載は編集部にご相談ください

1P	20万円（税別）
2P（見開き1P）	36万円（税別）
4P（見開き2P）	60万円（税別）
6P（見開き3P）	84万円（税別）
目次対向	40万円（税別）
裏表紙の裏（表3）	60万円（税別）
表紙の裏（表2）	120万円（税別）
裏表紙（表4）	200万円（税別）

掲載形式（Online）

バナー形式

記事形式

掲載料金（Online）

Banner Advertisement ※長期掲載はご相談ください

1ヵ月	20万円（税別）		
2ヵ月	36万円（税別）		
3ヵ月	42万円（税別）		
Tie-up article ※掲載日から数えて14日間トップスライダーへ設置		Press Release Repost ※掲載日から数えて7日間トップスライダーへ設置	
1本	20万円（税別）	1本	5万円（税別）
3本	36万円（税別）	3本	12万円（税別）
5本	60万円（税別）	5本	15万円（税別）

Q1. 雑誌の発行部数や配布先について教えてください。

A. 発行部数は約20,000部で、全国の書店、業界イベント、Web3.0関連企業などに配布されています。経営者・投資家・開発者など、感度の高い読者層にリーチできます。

Q2. 広告の制作もお願いできますか？

A. はい、純広告・タイアップ広告ともに、追加費用なしで弊社編集チームがクリエイティブを制作いたします。取材・記事執筆・デザインまで一貫して対応可能です。

Q3. タイアップの掲載例はありますか？

A. これまでに、暗号資産取引所、NFTプロジェクト、Web3.0スタートアップ、VCなど多様な企業様にご活用いただいております。実際の誌面事例は別途ご案内可能です。

Q4. 掲載スケジュールと締切はどのくらい前ですか？

A. 原則として、掲載号の約1カ月前までにお申し込みください。タイアップ広告の場合、取材や原稿作成に2～3週間ほどお時間をいただきます。

Q5. 雑誌以外でのプロモーション展開は可能ですか？

A. はい、雑誌掲載と連動して、lolite公式WebメディアやSNSでの発信、読者限定イベントとの連動など、マルチチャネルでの展開が可能です。

Q6. 広告出稿の最小ロットや金額の目安はありますか？

A. 【参考価格】

・雑誌 純広告、タイアップ記事広告(1ページ／カラー／取材・制作込) : 20万円(税別)～

・Online 記事広告・バナー広告 : 20万円(税別)～

※出稿ボリュームや連載企画などにより、パッケージ割引もございます。詳しくは個別にご相談ください。



【運営会社】

株式会社J-CAM

【設立】

2020年5月

【主な事業】

Web3.0情報ビジネス誌『lolite』の企画・発行
暗号資産レンディングサービス『BitLending』の運営

【代表者】

代表取締役 新津 俊之

【所在地】

105-0003
東京都港区西新橋3-13-3 BIZCORE西新橋13階

広告に関するお申込み・各種お問い合わせはこちらからお願いします。
<https://j-cam.co.jp/inquiry/>